

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|------------|
| ○事業所名 | 学習サポートはなまる | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年2月25日 | | | 2025年3月14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 29 | (回答者数) | 16 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年3月24日 | | | 2025年3月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月24日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 学習というコンテンツを利用していることにより、通常の療育施設よりも学校と連携を図ることが行えている。 | 学校側が求めている支援内容と実際に実施している対応のフォローに努めることで、学校と家庭の橋渡しのポジションとして連携を図っている。 | 学校だけではなく他事業所を初めとする療育機関や行政などとより密な関係を築くことで利用者が安心して活動できる場所を提供するように取り組んでいく |
| 2 | 市内中心部に事業所があることより、多くの学区から児童が通うことが出来ている。 | 利用者への送迎されている時間等の負担を軽減すべく、極力同地域の利用者は同じ利用日や時間帯に利用していただくことで、速やかに活動に参加出来るように努めている。 | 保護者や学校と、より連携を図ることで下校時間の送迎待ち時間などのメンタルストレスなどを軽減させるように取り組んでいく |
| 3 | 系列事業所との距離が近いことで、利用者同士のコミュニケーションが図りやすく、情報交換がスムーズに行えている。 | 常に利用者同士に対し細かい声掛けを行い、学習を通じた生活支援やコミュニケーションを図りやすくなるように取り組んでいる。 | 同じ歳や近い学年同士の利用者を集めて、交流活動をより行い、将来的に同じエリアに進学しても孤立しないようにさらなるコミュニケーション向上を図れるように取り組む。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 学習を療育コンテンツとして掲げているので、勉強以外の活動について優先的に行なうことが出来なくなる日がある。 | 平日の放課後利用者については日常的に宿題などの課題に取り組む時間しか確保できないため、その他の活動においては実施が難しい。 | スムーズに活動に取り組み、課題以外の活動が行えるようにミーティングや学校への連携強化を図りつつ問題解決に向けて試行錯誤している。 |
| 2 | 土曜日・祝日が休所日となるため、お出かけなどの学習以外の療育支援が日常的に実施出来ない。 | 買い物学習などの生活支援訓練は実施できているものの、レクリエーションを交えた課外活動については、実行する時間が確保できないため、長期休みなどにどのようにサポートを行っていくかが日常的な課題。 | 事業所内において、余暇の時間を多く作るように努め、利用者同士のコミュニケーションを図れるようにし、日常生活でも相互支援によって療育支援のフォローに努められるように取り組む |
| 3 | | | |